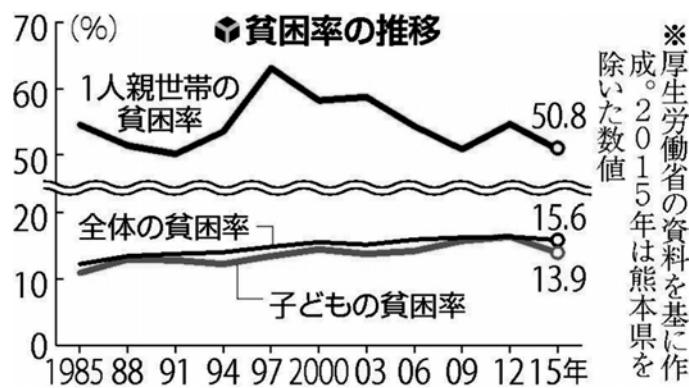


子どもの貧困問題

子どもの貧困率が13.9%に改善？ひとり親世帯は50%…依然高水準



荒川区における主な子どもの貧困対策…

荒川区子どもの貧困対策に取り組み始めたのが2009年自治総合研究所での「子どもの貧困・社会的排除」問題の研究からでした。区が示した、その後主な貧困対策は、以下の通りです。

- ①子ども家庭支援センター相談体制強化
- ②学習支援事業
- ③家庭相談事業
- ④タブレットPCを活用した学校教育の充実
- ⑤若年者就労支援の拡充
- ⑥養育支援訪問事業
- ⑦全小中学校で補充学習の実施(あらかわ寺子屋)
- ⑧地域力を活かした子どもの居場所づくり…など

この中で一番お金をかけてるのは、年額6億円かかるタブレットPCの活用事業です。しかし、これが子どもの貧困対策にどういった効果があったのか検証はなされていません。ほんとうに必要な対策は何か。義務教育での学校給食や学用品無償化など経済的給付や給付型奨学金はじめ直接子どもへの支援策の具体化が必要です。

厚生労働省が発表した国民生活基礎調査によると2015年時点での子どもの貧困率は、13.9%（7人に1人）で過去最悪の前回から2・4ポイント下がり、12年ぶりの改善。また、ひとり親家庭の貧困率は半数に達しています。いずれの指標も主要先進国の中では高い水準であり、深刻な事態はやはり改善されています。深刻な事態はやはり改善されています。厚労省は「雇用状況が良くなり、子育て世帯の所得の増加が主な要因」と言っています。しかし安倍政権のもとで年収200万円以下のワー

キングプアは増え続け、物価を反映させた実質賃金も下がり続けたことを考えると実態はより深刻なようです。非正規雇用で仕事を掛け持ちしている母親は多く、所得は増えても子どもの養育にかける時間が減っている人も少なくありません。ひとり親世帯に支給する児童扶養手当が昨年引き上げられましたが、対象は第2子以降で加算額も少額です。地方自治体・荒川区で何ができるのか？子育て世帯への支援とともに、給付型奨学金制度

減る実質賃金、増えるワーキングプア
(万人) (指数)
2010年 11 12 13 14 15
国税庁「民間給与実態統計調査」、厚労省「毎月勤労統計調査」から作成
ワーキングプアは1年を通じて働いた給与所得者のうち年収200万円未満の人数。15年は未発表

年	ワーキングプア (万人)	実質賃金指数 (指数)
2010	1040	100
11	1080	99.5
12	1100	98.5
13	1120	97.5
14	1140	96.5
15	1140	95.5

都電通りを東京都が「無電柱化」つまり電線類の地中化のため歩道側に「共同溝」の工事をしていることを以前お伝えしました。ところでその工事に際して都電通りの歩道脇に植えてあった銀杏のが数本伐採されていました。私は、共同溝を作るので仕方ないかななどと思つていました。しかしそ近所の方から「緑がなくなつて寂しい」「これからどうなるのか」など声もあって、東京都の第六建設事務所に状況を聞きました。担当課長の話によると、地下に共同溝を作るため樹木の根が除去するしかなり、3年後に完成するが植栽についても状況を聞きました。

（横山幸次）

（横山幸次）

（横山幸次）



裏面 永久水利による送水訓練、俳句のまち…など

定例法律相談会
※8月の定例法律相談はお休みにします。
(お急ぎの方はご連絡下さい)

生活相談は、随時受付ています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

横山幸次

区政報告
ニュース

No 663

2017年7月16日

発行 日本共産党区議会議員団

TEL 3802-4627

fax 3806-9246

メール arajcp@tcn-cat.v.ne.jp

★町屋相談室

荒川区町屋5-3-5

TEL 3895-0504

メール yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

5中の永久水利の運用はこれからの防災防火を考える



会場の5中グランド



最終的には公園内の40t防火水槽に注水してそこから放水する



会など参加
水利で利用
するため町

7月9日に行われた第五中学校隅田川堤防に設置された永久水利を活用した遠距離送水訓練を見てきました。永久水利は、災害時に断水で消火栓が使えない場合でも河川や深井戸など枯渇しない水利の一環として整備されてきました。五中のように隅田川から取水するがあります。荒川区のよう木造密集地域が多いところで大地震などによる火災へのお対応が極めて重要です。

今回は、隅田川の水を消防水利で利用しての訓練でした。堤防に二つの取水口がありホースの取り付けなどは比較的容易な感じはしました。消防ポンプ(1分間230リットル)は、町会や学校等にも配備され比較的扱いにも慣れている方もおられます。しかし最初のB級ポンプ(1分間500リットル)や次の段階のC級ポンプ(1分間350リットル)など最初のセッティングや操作は一定慣れていないとできないように思いました。区や消防署職員、消防団員などのサポートで藍染公園まで送水をすることができました。やはり日常の訓練が必要です。

水道の耐震化は緊急!

やはり災害時の消防活動をどの地域でも迅速に行うためには、水管の耐震化を進め、どこでも消火栓が使えるようになります。これは、東京都の事業ですが、これこそ緊急性を持つた公共事業ではないでしょうか。

荒川区は、「俳句のまちあらかわ」を宣言し、様々な事業を行っています。区内には、少なくなると、俳句でなく短歌や他の詩作も好む人もいます。文化というものは奥深いもので、ぜひ俳句でも様々な角度で取り組んでほしいとおもうのですが。

同時に、宣言文の中には「芭蕉の想いと四季折々の美しさに導かれ子規が『一茶が山頭火がこの地で俳句を詠みました』とあります。この間、芭蕉の「銅像」を建てたり取り組みの中心は芭蕉でした。しかし、一茶、子規、山頭火についてはあまり取り上げることがありませんでした。俳句愛好家の多くは、この地で句を詠んだ俳人にありました。俳句愛好家の多くは、この地で句を詠んだ俳人にあります。文化というものは奥深いもので、ぜひ俳句でも様々な角度で取り組んでほしいとおもうのですが。



今週のデータ パリ協定から離脱のアメリカ 地球温暖化に背…世界で批判

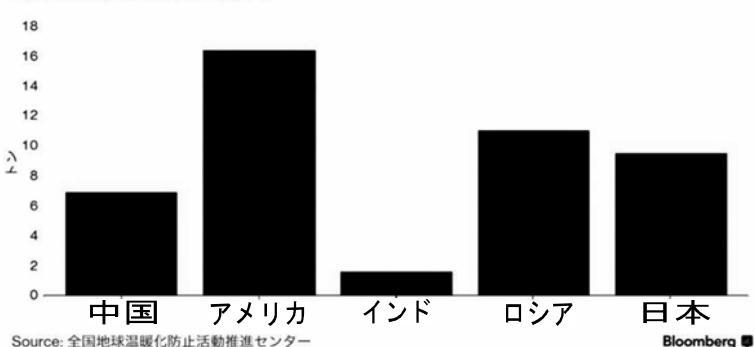
がはやりですが、結局自分勝手ということに通じるのではないでしょう?

最近「〇〇ファースト」

二酸化炭素(CO₂)排出量の1位は中国ですが、一人当たり排出量となると、アメリカがダンツで1位です。

米国は1人当たり排出量で中国を上回る

■二酸化炭素の排出量上位5カ国(2014年)



「俳句のまち荒川宣言」と取り組みは